

化石のレプリカを作ろう 2

山口県防府市立桑山中学校 松村浩一

1 こどもたちへのメッセージ

いろいろな化石があります。本物の化石も販売されていますが、大きくてきれいなものは、それなりに高価です。たくさん集めるには苦労しそうです。また、本来化石は1個1個がかけがえのないものであり、貴重なものです。

化石を観察するなら、なるべく本物がよいことは当然です。しかしながら、授業など多くの人が観察するとなると数が必要になります。本物を数多くそろえるのは難しいし、一つ一つ違うと共通点や差異を見抜きにくいのも事実です。そのようなとき、化石のレプリカが役に立ちます。レプリカといえど、本物の化石で型を取ったものは、本物と同じ形や模様を観察できます。プロでもレプリカで観察するとか。あなどれません。

今回は、樹脂による化石のレプリカの作り方を実演し、記念のキーホルダーとして持ち帰ってもらいました。今回は、石膏で作った化石のレプリカに着色して、本物の化石のようにする体験をしてもらいます。手頃な大きさの三葉虫、アンモナイトなどを準備してありますので、水性絵具で着色しましょう。

2 用意するもの

- ・ 着色したレプリカと本物の化石、数種類。石こう製。
- ・ シリコン型（モササウルスの歯、サメの歯、アンモナイト、三葉虫）
- ・ セッコウ製のレプリカ（モササウルスの歯、サメの歯、アンモナイト、三葉虫）
- ・ 水性絵具、筆、筆洗い、パレット

3 観察の仕方

- ・ 本物とレプリカを見分けてみましょう。

4 着色のコツ

- ・ セッコウは絵具を吸収していきます。絵具を筆でこすらずに、絵具をのせていく感じで着色します。
- ・ 一色より、いろいろな色を混ぜたほうが陰影が付き、本物のようになります。



5 注意すること

- ・ 危険はほとんどありませんが、セッコウは柔らかく粉っぽいので、粉を目に入れないように注意しましょう。

6 問い合わせ先（もっとくわしく知るために）

- ・ 松村浩一 山口県防府市立桑山中学校 kuwano-j@c-able.ne.jp
- ・ 「化石 レプリカ」で検索すると、多くのページにヒットします。